



## 主要な農作物の生育情報

平成22年度 第3号  
(平成22年 6月17日)  
福島県農林水産部研究技術室



### 【水 稲】

県内の田植盛期は各農林事務所農業振興普及部・農業普及所の調査によると、低温の影響により各地域とも遅れ、県全体ではおよそ3日の遅れとなりました。なお、5月3半旬及び6半旬が低温に経過したことから、その時期に移植された圃場では低温・強風による植え痛みが見られましたが、生育は回復傾向にあります。

農業総合センターにおける作況試験では、当初生育の遅れが懸念されていましたが、本部（郡山）、会津地域、浜地域とも6月15日現在ではほぼ平年並みに回復しております。傾向として、いずれの地域においても草丈がやや短く、茎数は平年並み～やや多い状況となっております。

### 【麦 類】

出穂期は平年と比較し、小麦「きぬあずま（浜地域）」で5日、「ゆきちから（会津）」で8日の遅れとなっており、成熟期も遅れる見込みです。浜地域の大麦（シュンライ）は平年より6日遅れ、6月11日に成熟期となりました。

### 【大 豆】

5月下旬から大豆の播種適期となっておりますが、農業振興普及部・農業普及所からの情報によると、例年より播種作業に遅れがみられています。

### 【野 菜】

#### 1 アスパラガス

半促成栽培の夏秋取りは、平年並みの6月上旬から行われています。露地栽培の春取りは終了し、夏秋取りは7月中旬頃より行われる予定です。

#### 2 きゅうり

半促成（無加温）は、5月上旬から収穫されましたが、現在は生育が回復しています。露地夏秋きゅうりの定植作業は、ほ場準備の遅れや低温の影響で定植を遅らせたほ場が多く、5月下旬がピークとなりました。

#### 3 トマト

県南地方では、2月下旬から3月上旬にかけてのは種の作型で、4月20日頃より定植作業が行われました。

南会津地方では、各農家への仮植苗配布は、4月末から5月上旬に行われました。定植は平年並みの6月上中旬に行われました。

#### 4 夏秋ピーマン

安達地方及び田村地方のトンネル栽培の定植作業は、5月連休明けから行われました。露地栽培の定植作業は、5月末から行われました。

#### 5 夏秋ナス

安達地方及び田村地方のトンネル栽培の定植作業は、5月の連休明けから行われました。露地の定植作業は、5月20日頃から行われました。

#### 6 インゲン

4月の低温により、定植は5月中旬から行われました。

#### 7 サヤエンドウ

伊達及び安達、須賀川、田村地方では、出荷開始は5月20日頃から行われました。現在、着莢は良好ですが、ナモグリバエの被害がみられます。

#### 8 春ブロッコリー

県南地方では、4月上旬定植のものは6月中旬からの出荷される見込みです。

相双地方では、平坦部は出荷が5月末より行われました。山間部（飯舘村）は6月中旬からの見込みです。

### 【果 樹】（6月15日現在：農業総合センター果樹研究所）

#### 1 モモ

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」が平年比95～100%、「ゆうぞら」が平年比93～98%と平年並み～やや小さい状況ですが、果実の生育日数（満開後の日数）による比較では平年並みの肥大となっています。

農業総合センター果樹研究所によると、「あかつき」の収穫期は平年より2日程度遅いと予測されています。

#### 2 ナシ

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」が平年比96～99%、「豊水」が平年比93～95%と平年並み～やや小さい状況ですが、果実の生育日数による比較では平年並み～やや大きい状況です。

#### 3 リンゴ

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」が平年比90～93%、「ふじ」が平年比92～97%と平年よりやや小さい状況ですが、果実の生育日数による比較では平年並みの状況です。

#### 4 ブドウ

「巨峰」の開花始めは6月11日で平年より5日遅く、満開は6月15日で平年より6日遅れました。

### 【花 き】（6月15日現在）

#### 1 キク類

露地栽培の小ギクや輪ギクでは、8月咲き品種の生育は平年並みまで回復しています。

## 2 リンドウ

リンドウの生育は、5月上旬の気温上昇に伴い、草丈、節数共に平年並みまで回復しています。

## 3 シュコンカスミソウ

半促成栽培の出荷は、昭和村では6月6日から始まりました。また、越冬株栽培の生育は、ほぼ平年並みに回復しつつあります。

病害虫については、ハモグリバエ類が各地で散見されてます。

## 4 トルコギキョウ

会津地方の無加温促成栽培では、ほぼ平年並みに6月上旬から出荷が開始されました。

なお、4月以降に定植された作型の生育は、概ね良好です。

### 【飼料作物】

#### 1 牧草

県内の牧草は、5月下旬に一番草の収穫盛期となりました。作柄判定ほや畜産研究所では、昨年と比べて約1週間遅れて収穫作業が行われ、ほぼ平年並みからやや少ない収量となりました。

#### 2 飼料用とうもろこし

県内の飼料用とうもろこしは、4月下旬から播種作業が行われました。6月1日現在の作柄判定ほや畜産研究所の生育は、4月下旬から5月上旬播種で3～4葉期、5月中旬播種で1～2葉期となっており、概ね順調に発芽、生育しています。

病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部研究技術室 TEL(024)521-7336

<http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyukaihatu/gijyutsufukyu/seiikugijyutsujyohou.html>